

報 告 題 目

5月13日（土）個別報告／ミニシンポジウム／企画委員会シンポジウム

9:30～12:30

*** ミニシンポジウム①：「e-サポート裁判所」の創造的構想——民事訴訟を中心として**

司会・コーディネーター：川嶋四郎（九州大学）

- (1) 川嶋四郎（九州大学）「企画の趣旨」
- (2) 上田竹志（久留米大学）「裁判手続における『e-サポート』の課題と展望（仮題）」
- (3) 笠原毅彦（桐蔭横浜大学）「サイバー・コートの構想（仮題）」
- (4) 横田雅善（長崎地方裁判所）「裁判所実務におけるIT化の現状（仮題）」
- (5) 川嶋四郎（九州大学）「『e-サポート裁判所』構想の課題と展望（仮題）」等

*** ミニシンポジウム②：法的サンクションと非・法的サンクション——「法動態学」の視点——**

司会・コーディネーター：河村有教（神戸大学）

- (1) 座主祥伸（神戸大学）「非・法的サンクションから法的サンクションへの変遷—相互依存の視点—」
- (2) 河村有教（神戸大学）「中国社会における法的サンクションとコミュニティの再編」
- (3) 橋本祐子（神戸大学）「刑事的サンクションから民事的サンクションへ」
- (4) 日置孝一（神戸大学）「社会的サンクションと法的サンクション—集団内規範と集団間規範—」

*** ミニシンポジウム③：生ける法としての非典型担保**

司会：コーディネーター：鳥谷部茂（広島大学）

- (1) 鳥谷部茂（広島大学）「生ける法と非典型担保」
- (2) 堀田親臣（広島大学）「非典型担保の実態」
- (3) 上河内千香子（琉球大学）「不動産の非典型担保」
- (4) 田村耕一（熊本大学）「動産の非典型担保」
- (5) 吉田光碩（大阪大学）、村山洋介（鹿児島大学）、小川幸士（帝塚山大学）「債権・権利の非典型担保」

*** 個別報告分科会 A**

司会：吉田 勇（熊本大学）

- (1) 上杉奈々（横浜市立大学）「産科医療現場の”声”から考察する医療過誤訴訟における法と臨床現場の乖離」
- (2) 平田真太郎（横浜国立大学）「土地所有権のパラドックス——ケニアにおける土地無権利者の事例から——」
- (3) 石田慎一郎（国立民族学博物館）「身分契約における形式的な取引モデル——ウェーバー法社会学とアフリカ民族学の接点——」
- (4) 水林彪（一橋大学）「“Legitimität der Herrschaft”（Max Weber）概念考——原義および訳語問題——」

12:30～13:30

昼 食 ： ポスターセッション

- (1) 竹原信也（同志社大学）「事例報告：自治体文化行政の法過程—滋賀県東市の文化振興と公立文化施設における指定管理者制度導入—」
- (2) 飯 孝行（弘前大学）「裁判官に対する周期的審査の機能—再任審査、国民審査をめぐる近時の論議に触れて—」

13:30～14:30

総 会

14:30～18:00

*** 企画委員会シンポジウム：「会社をめぐる法と社会規範」**

司会：石田 眞（早稲田大学）／企画趣旨説明・論点整理：宮澤節生（大宮法科大学院大学）

- (1) 宮澤節生（大宮法科大学院大学）「シンポジウムの目的」
- (2) 上村達男（早稲田大学）「日本の法律学は最大自由の資本市場に立ち向かえるか」
- (3) 草野耕一（弁護士）「我が国における敵対的買収の理念と現状」
- (4) 穴戸善一（成蹊大学）「動機付けの仕組としての企業とハードロー・ソフトロー」
- (5) 野田 博（一橋大学）「会社の組織・行動をめぐる規範の私的形成とそれに着眼する研究の意義・課題——コーポレート・ガバナンスにおけるソフトローを対象として——」
- (6) 根岸 哲（甲南大学）「独禁法・消費者法と会社の行動・内部構造のあり方」

*** ミニシンポジウム④：市民と法専門教育——ロースクールにおける実技教育の課題**

司会：松浦好治（名古屋大学）、コーディネーター：菅原郁夫（名古屋大学）

- (1) 菅原郁夫（名古屋大学）「専門教育における市民参加の意義」
- (2) 藤崎和彦（岐阜大学）「医学部における模擬患者の教育参加の現状とその成果」
- (3) 今在景子（名古屋大学）＝長田理（名古屋大学）「模擬相談の教育参加による法実務教育の実践とその効果」
- (4) 池田輝政（名城大学）「専門教育への市民参加の教育方法論」
- (5) 松浦好治（名古屋大学）「専門教育における転換点と今後」

*** ミニシンポジウム⑤：裁判員制度の課題と展望：専門家と非専門家のコミュニケーション論**

司会・コーディネーター：四宮 啓（早稲田大学）

- (1) 早野貴文（東京弁護士会）「問題提議」
- (2) 藤田政博（政策研究大学院大学）「研究者の捉えた裁判員制度」
- (3) 山口 進（朝日新聞社）「メディアの捉えた裁判員制度」
- (4) 大河原眞美（高崎経済大学）「言語研究からの裁判員制度のコミュニケーション分析」

5月14日（日）個別報告／ミニシンポジウム／全体シンポジウム

9:00～12:00

*** ミニシンポジウム⑥：市民法学・市民法論の現在**

司会・コーディネーター：篠原敏雄（国士舘大学）

- (1) 篠原敏雄（国士舘大学）「まえおき」
- I. ー私にとっての市民法論ー
- (2) 清水 誠（東京都立大学名誉教授）「近代市民社会の時代の歴史的 understanding について」
- (3) 吉田克己（北海道大学）「規範的社会理論としての市民社会論」
- (4) 広渡清吾（東京大学）「市民社会論のルネッサンスと市民法論」
- II. ー各法分野からの発言ー
- (5) 篠原敏雄（国士舘大学）「法理論」
- (6) 飯島紀昭（成蹊大学）、今村与一（横浜国立大学）「民法」
- (7) 西谷 敏（大阪市立大学）「労働法」
- (8) 近藤充代（日本福祉大学）「経済法」
- (9) 内田博文（九州大学）「刑事法（市民的治安主義について）」

*** ミニシンポジウム⑦：「司法過疎」とは何か**

コーディネーター：樫村志郎（神戸大学）

- (1) 阿部昌樹（大阪市立大学）『司法過疎』6 地域比較調査について」
- (2) 大塚 浩（奈良女子大学）「地域生活と消費者法律問題について」
- (3) 長岡壽一（弁護士）「弁護士会の司法過疎対策の現状と課題について」
- (4) 矢筈原浩介（司法書士）「地域法律サービスの現状と課題について」

*** ミニシンポジウム⑧：外国人犯罪をめぐる問題**

司会：新倉 修（青山学院大学）、コーディネーター：河合幹雄（桐蔭横浜大学）

- (1) 河合幹雄（桐蔭横浜大学）「企画趣旨説明と報告」
- (2) 浜井浩一（龍谷大学）「報告」
- (3) 大貫憲介（弁護士）「報告」

*** 個別報告分科会B**

司会：松村良之（北海道大学）

- (1) 齋藤民徒（東京大学）「法使用類型に関する一試論——国際法研究の方法論とその拡張可能性——」
- (2) 牛嶋 仁（中央大学）「環境規制法の生成と運用——土壌汚染対策法制における政府の役割と行動様式——」
- (3) 藤本 亮（静岡大学）「法経験の法知識・法意識への影響」
- (4) 和田安弘（大阪府立大学）「紛争処理と交渉」

*** 個別報告分科会C**

司会：南方 暁（新潟大学）

- (1) 中原拓也（明治大学）『罪悪感』と『被害者／加害者』問題」
- (2) 江口聡（京都女子大学）「ポルノグラフィ・憎悪表現と言語行為論」
- (3) 南野佳代（京都女子大学）「ジェンダー法学の法学専門教育における位置づけ——米国ロースクールのカリキュラムと教員の経験」
- (4) 久保山力也（早稲田大学）「現代『法教育』と法社会学／理論と実践」

12:00～13:00

昼 食 ： ポスターセッション（13 日と同じ）

13:00～16:50

*** 全体シンポジウム：『現代における私法・公法の〈協働〉』**

司会：宮澤節生（大宮法科大学院大学）

コメンテーター：阿部昌樹（大阪市立大学）・宮澤俊昭（近畿大学）

- (1) 原田純孝（東京大学）「企画の趣旨と問題の提示」
- (2) 山本隆司（東京大学）「私法と公法の〈協働〉の様相」
- (3) 秋山靖浩（早稲田大学）「民法学における私法・公法の〈協働〉——その現状と課題——」
- (4) 名和田是彦（法政大学）「現代日本における『公共』の構図」
- (5) 田中成明（関西学院大学）「私法・公法の〈協働〉と司法の機能——現代型訴訟を素材に——」

16:50～17:00

理事長挨拶